```
DIALOG(R) File 351: Derwent WPI
(c) 2004 Thomson Derwent. All rts. reserv.
008310398
WPI Acc No: 1990-197399/199026
XRAM Acc No: C90-085605
XRPX Acc No: N90-153442
 Forming reflection layers of lamp housings - by forming in-mould foil,
 injection moulding and adhering aluminium deposition layer to inner
 surface
Patent Assignee: ICHIKOH IND KK (ICHI )
Number of Countries: 001 Number of Patents: 001
Patent Family:
Patent No
             Kind
                     Date
                             Applicat No
                                            Kind
                                                   Date
                                                            Week
JP 2130113
             Α
                   19900518 JP 88283946
                                             Α
                                                 19881111 199026 B
Priority Applications (No Type Date): JP 88283946 A 19881111
Abstract (Basic): JP 2130113 A
        A reflection layer is formed on an inner surface of a synthetic
    resin lamp housing by producing an in-mould foil composed of an Al
    deposition layer, an adhesive layer, a protection layer, a release
    layer and a base film and having a shape corresp. to the inner surface
    of a lamp housing, placing it on moulds for moulding the lamp housing,
    injection moulding the lamp housing by injecting synthetic resin to the
    moulds and adhering the Al deposition layer to the inner surface of the
    lamp housing with the adhesive layer.
        USE/ADVANTAGE - To form a reflection layer on an inner surface of a
    lamp housing by using metal deposition film simultaneously when the
    lamp housing is moulded. (4pp Dwg.No.0/6)
Title Terms: FORMING; REFLECT; LAYER; LAMP; HOUSING; FORMING; MOULD; FOIL;
  INJECTION; MOULD; ADHERE; ALUMINIUM; DEPOSIT; LAYER; INNER; SURFACE
Derwent Class: A32; M13; P73
International Patent Class (Additional): B29C-045/14; B29L-009/00;
  B29L-031/34; B32B-007/02; B32B-015/08; C23C-014/20
File Segment: CPI; EngPI
Manual Codes (CPI/A-N): A11-B; A11-B12A; A12-L03; M13-H03; M13-H05
Plasdoc Codes (KS): 0229 0231 2315 2437 2439 2441 3231 3232 2488 2545 3253
  2682 2726 2728 2850
Polymer Fragment Codes (PF):
  *001* 014 03- 04- 314 431 443 446 456 461 47& 476 477 55& 57& 597 600 609
        650 687
?
```

@ 公 開 特 許 公 報 (A) 平2-130113

®Int. Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	❸公開	平成2年(1990)5月18日
B 29 C 45/14 45/16		2111-4F 2111-4F		
B 32 B 7/02 7/12	103	6804-4F 6804-4F		
15/08 C 23 C 14/20	Z	7310-4 F 8722-4 K		
// B 29 L 9:00 31:34		4F 4F		
		審査請求	未請求	青求項の数 1 (全4頁)

公発明の名称 ランプハウジング反射層の構成方法

②特 願 昭63-283946

22出 願 昭63(1988)11月11日

日 出 男 東京都杉並区久我山2-14-2 @発 明 者 内藤

市 光 工 業 株 式 会 社 東京都品川区東五反田 5 丁目10番18号 勿出 願 人

個代 理 人 弁理士 秋本 正実 外1名

/ . 発明の名称

ランプハウジング反射層の構成方法

2.特許請求の範囲

1. 合成樹脂製ランプハウジングの内面に反射層 を構成する方法において、

金属燕着膜及び接着剤層を有する箱状部材を 構成し、

上記格状部材を、前記ランプハウジングの内 面と嵌合する函状に成形し、

ランプハウジング射出成形用の金型内に、上 記の成形された棺状部材をセットし、

合成樹脂材によってランプハウジングを射出。

上記ランプハウジングの内面に前記の接着剤 層を介して金属蒸着膜を固着せしめることを特 徴とする、ランプハウジング反射層の構成方法。

」、発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、ABS、PP、AASなどの合成樹

脂製ランプハウジングの内面に、光源パルブから 射出した光を反射させる反射層を構成する方法に 関するものである。

〔従来の技術〕

合成樹脂製ランプハウジングの内面に反射層を 構成するため、一般に用いられている従来の技術 を大別すると、反射強装処理法、蒸着処理法、及 び、金属反射板の組付法が有る。

〔発明が解決しようとする課題〕

第4図は前記反射強装処理法の説明図である。 合成樹脂によって射出成形されたランプハウジン グ1の内面に、スプレガン2によって反射性の強 料を強装する。

第5図は上記の反射強装処理法によって反射層 を構成されたランプハウジングの1部を切断して 描いた断面図である。

合成樹脂材よりなるハウジング楽地 1′の内面 に反射強腱3が成膜されている。

しかし、このように強膜によって構成された反 射層は、反射特性が余り良くなく、配光特性に限 度が有る。その上、灯体に輝度感が得られ難いと いう不具合が有る。

第6回は、前記の蒸着処理法によって構成された反射層の断面図である。このような反射層を構成するには、

その上に、例えばアルミニウム等の金属を蒸着 させて蒸着層5を成膜し、

更にその上にエア・スプレ (図示せず) によってトップコート 6 を成膜する。

この蒸着処理法を施工するには蒸着処理装置が 必要であるため設備費用が其大となる。

その上、アンダコート塗装工程やトップコート・ 塗装工程を伴うので多大の時間と労力とを娶し、 製造コストが高価となる。

また、合成樹脂製のランプハウジングと別体に 反射板を構成して取り付ける方法によれば、構成 部品点数が多く、取り付け手数を要し、その上、

て射出成形用の金型の間に挟み込んで射出成形を 行う。

上述の原理を工業生産面に適合させるための具体的構成として、本発明の反射層構成方法は、

合成樹脂製ランプハウジングの内面に反射層を 構成する方法において、

金属蒸着膜及び接着削層を有する循状部材を構成し、

上記格状部材を、前記ランプハウジングの内面 と嵌合する函状に成形し、

ランプハウジング射出成形用の金型内に、上記 の成形された箱状部材をセットし、

合成樹脂材によってランプハウジングを射出成 形し、

上記ランプハウジングの内面に前記の接着剤暦を介して金属蒸着膜を固着せしめることを特徴とする。

(作用)

上記の構成によれば、射出成形と同時に反射層 が構成されるので、工程が簡単である。 大重量になり、コスト高になるといった不具合が ある。

本発明は上述の事情に鑑みて為されたもので、 良好な反射特性が得られ、簡単な工程で製造する ことができ、高価な設備を必要とせず、ランプハ ウジングを大重量ならしめる虞れの無い、ランプ ハウジング反射層の構成方法を提供することを目 めとする。

(課題を解決するための手段)

上記の目的を達成するために創作した本発明の 方法の基本的原理は、

合成樹脂材によってランプハウジングを射出成形する際、反射層を構成する柔軟な金属膜をインサートして射出成形するものである。

上記金属膜は、反射特性を良くし、かつ柔軟性を得るために金属蒸着膜によって構成し、かつ、 該金属蒸着膜がランプハウジングの内面に固着す るよう、予め金属蒸着膜に接着剤層を成層してイ ンモールド用の箱を構成し、このインモールド箱 をランプハウジング内面に嵌合する函状に成形し

しかも、前記箱状材料は専門工場において大量 生産されるので、安定した品質のものが安価に供 給される。

そして、ランプハウジング製造工場には蒸着設備を必要としないので設備コストが安い。

その上、金属森奢瞜を反射層として用いるので 反射特性に優れており、しかも軽量に構成することができ、構成部品点数を増加させない。

(実施例)

第1 図乃至第3 図は本発明に係る反射層の構成 方法の一実施例を示す模式図である。

第2回に示すインモールド箱9を、次記の如く 構成する。

このインモールド館9の主要構成部材はアルミ 蒸着層9dと、その片方の面に成層された接着層 9eとである。

上記アルミ蒸着層 9 dの他方の面には保護圏 9 c が成膜されており、この保護層 9 cは離型層 9 bを 介してベースフイルム 9 a に貼着されている。

本例のインモールド箱9は長尺の帯状に構成し

てロールされており、第3個に示すように上型7 と下型7との間に張り波される。

インモールド館9は、接着周9eを凹形の下型 8に向け、ベーネフイルム9aを凸形の上型7に 向けて保持されている。

本例のペースフィルム 9 a はポリエステルで構成した。

本例の離型層 9 bはワックスで構成した。

本例の保護層9cはアクリル系樹脂で構成したが、塩化ビニールを用いてもよい。

本例のアルミ蒸着層は、アルミニウムを厚さ20mに蒸着成膜した。本発明を実施する際、この蒸着層(蒸着膜)の厚さ寸法は20~100 μmが好適である。

接着層 9 eは、ランプハウジングと同系の合成 樹脂を用い、ランプハウジングを構成している合 成樹脂に比して軟化温度の低いものを用いると良い。

第3回に示した上型7と下型7とでインモール ド箱9を押圧成形すると、

に固着された函状のインモールド箱の内周面は、 保護層9cでカバーされたアルミ蒸着層9dによっ て構成されている。

本実施例は上記の如き構成よりなり、

ランプハウジング1の内面にアルミ蒸着層9d よりなる反射層が形成されているので良好な反射 特性を示し、

ランプハウジング 1 の射出成形と同時に反射層が形成されるので工程が簡単で、

ランプハウジング製造部門には蒸着設備を必要 としないので設備コストが安く、

金属 (アルミニウム) 蒸着酸によって反射層が 形成されるのでランプハウジング 1 の重量増加は 無視し得る程度に僅少である。

(発明の効果)

以上説明したように、本発明に係るランプハウジング反射層の構成方法によれば、金属蒸着膜による良好な反射特性が得られ、ランプハウジングの射出成形と同時に施工される簡単な工程で反射層が構成され、しかも軽量、安価であるという優

ベースフイルム9a及び離型層9bを残して、 保護層9cと蒸着層9dと接着層9eとよりなる 函状のインモールド簡9´が得られる(矢印 a)。

前記の上型7,下型8の形状を適宜に設定してこの成形された函状のインモールド箱9'の外周面がランプハウジングの内周面に嵌合するように 構成する。

第1図(A)に示す10はランプハウジング射出成 形用の金型(雌)、11は同じく金型(雄)である。 前述のようにして函状に成形したインモールド 箱9′を、矢印bの如く金型(雄)11に被せてセ ットし、

第1図(B)に示す如く双方の金型10,11を合わせて、合成樹脂材によりランプハウジング12を射・出成形する。

・ これを型開きすると、第1図(C)の如く、ランプハウジング12の内周面に成型されたインモールド倍9⁷が一体的に固着された製品(ランプハウジング)が得られる。

前述の接着層写eを介してランプハウジング12

れた実用的効果を奏する。

4. 図面の簡単な説明

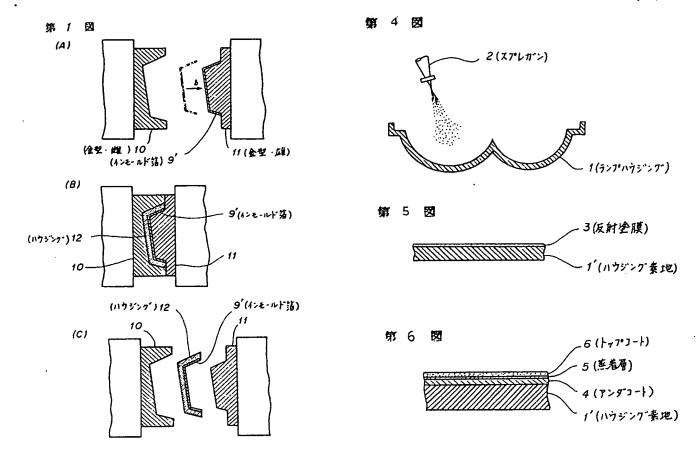
第1図は本発明に係るランプハウジング反射層の構成方法の一実施例を示す模式的な説明図、第2図は上記実施例におけるモールド倍の拡大断面図である。

第3回は上記実施例における成形作業の説明図である。

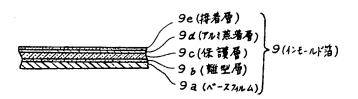
第4回乃至第6回はそれぞれ従来技術における 反射層構成方法の説明図である。

1 … ランプハウジング、1′ … ランプハウジングの合成樹脂素地、2 … スプレガン、3 … 反射強膜、4 … アンダコート、5 … 蒸着層、6 … トップコート、9 … インモールド箱、9′ … 函状に成形されたインモールド箱、9 a … ベースフイルム、9 b … 離型層、9 c … 保護層、9 d … 金属蒸着層の1 例としてのアルミ蒸着層、9 e … 接着層、10 … 金粉(鍵)、11 … 金粉(鍵)。

特許出顧人 市光工業株式会社 代理人弁理士 秋 本 正 実 外1名



第 2 図



第 3 図

